土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名	一級河川江の川水系忍地沖川測量設計地質調査業務委託（通常砂防・交付金）
事　業　・　工　事　名	
調査目的及び調査対象	砂防　ダム・溜池

ボーリング名	No.2	調査位置	広島県庄原市比和町比和　地内	北　緯	34° 59' 10.1190″
発注機関	広島県北部建設事務所　庄原支所	調査期間	令和5年 1月 5日～ 令和5年 1月 7日	東　経	132° 59' 10.2867″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	TP 459.27m	角度	180° 上 下 90° 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機　DO-B型	
総削孔長	6.00m		エンジン	ヤンマー　NF 110型	ポンプ　東邦地下工機　BG-3C型

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図	N値	深度（m）	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度（m）	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
	458.67	0.60		黒ぼく		黒灰	rd1		表土～崖錐堆積物 腐植物の混じる砂質土	1/7 無し														
1	458.27	1.00		強風化流紋岩		黄褐			流紋岩の強風化土（DL） 風化著しく、礫混じり砂状～粘性土状となる。			50以上	1.15 1.38	17	25	8 30	50 230	230						
2				強風化流紋岩		黄褐			流紋岩の風化岩 風化著しく礫混じり砂質土状～礫状となる。 軟岩Ⅰ（DH）			50以上	2.00 2.08	50 80			50 80	80						
3	456.07	3.20																						1/6
4				風化流紋岩		黄褐灰			流紋岩の風化岩 概ねコア形状で採取されるが、亀裂に沿って風化が進行し、褐色に変質している。 深度3.52m～3.75m間は硬質で中硬岩クラス。 深度3.80m～3.86m間は硬質で中硬岩クラス。 深度4.00m～4.27m間は硬質で中硬岩クラス。 深度4.60m付近は褐色に変質して粘土化する。 軟岩Ⅱ（CM）															
5	453.77	5.50																						
6	453.27	6.00		流紋岩		淡青灰																		1/7
7									流紋岩の弱風化岩 岩質は比較的硬質で、15cm前後の短柱状コアとして採取される 中硬岩（CH）															
8																								
9																								
10																								
11																								